

⑦ 知的障害者の保健衛生・看護

課題：安全で快適な環境づくりのために、支援員のすべきことは何か。また、あなたの業務を振り返り述べなさい。

私は現在、知的障害児施設に勤務しており、その中で医務管理を任されているので、普段から利用者の健康や安全に対しては色々と頭を悩ませている。環境調整では細やかな配慮を必要とし、健康面でも毎日のメディカルチェックはかせないのである。施設という集団生活の中で病気を流行らせない、衛生を保つという事は容易ではない。そして、抵抗力の弱い、幼児や重度の障害をもつ利用者、体温調節が苦手な利用者等、様々な体質の人間が暮らす環境で、私たちはどう管理していけば良いのかは非常に大きな課題である。

一言で環境といっても、採光、換気、温度調節、騒音等様々な条件がある。施設という閉鎖的になりがちなところでも、太陽の光をたくさん取り入れ、風を通すだけでずいぶんと感じる心地良さは変わるのではないだろうか。

換気については、ホコリ・細菌・ウィルスが増加しないよう、私の施設では隅々まで掃除を毎日行い、その後さらに消毒液を含ませた雑巾で壁や床、人がよく触れるところを拭きあげている。窓もできる限り開けホコリ等がたまらないように気を配っている。布団等の寝具も定期的に洗濯したり干したりしてカビが発生しないよう努めている。

毎日、失尿や失便等の汚物処理も業務としており、その都度汚れた床等を消毒液で消毒をし

なければならない。特に感染症の病気が流行した場合、ウィルスが空気感染するため、嘔吐物等の処理にも細心の注意をはらって処理を行っていた。

体温調節が苦手な利用者も少なくない。夏場は熱が体内にこもりすぎて38度近くまで上がる利用者も中にはおり、適度な涼しさになるよう冷房の温度調節や衣服での調節を行ったりしている。汗が出ない利用者等、熱中症や脱水症状の恐れがある場合、水分をこまめに補給してもらったり、外気の温度・湿度の確認を行っての外出計画を立てたりするのである。夏休み前の時期には、熱中症対策としての研修会も開かれ、さらに詳しい熱中症予防について学ぶ事ができた。体感温度一つにしても私たちが感じる暑さと、背が低く地面により近い幼児が感じる暑さでは、幼児の方が断然暑さを感じやすく、熱中症になりやすいという事、逆に暑さに対する感覚が鈍るお年寄りも熱中症にを起こしやすいという事を学び、熱中症だけではないが私達自身が感じる感覚だけでなく、利用者自身がどう感じるか、どういう状態なのかを把握することが大切なのである。

また、快適に過ごしやすい環境づくりとして、プライバシーの確保がある。私の施設では4人部屋であるが、きちんと外側にも廊下側にもカーテンが使用されており、個室的な空間を感じら

れるようにしている。年頃の中学生・高校生も入所しているため、安心してリラックスして過ごすことができるよう、自分専用の家具や趣味のものを持ち込んで。中には、整理整頓が苦手な利用者や、衛生的に気をつけられない利用者があるため、私達職員がこまめに気を配り、利用者自身が整理整頓し、衛生的に保つことができるよう指導していく必要がある。

手入れに関しては、個人の居室は基本的に利用者自身に清掃する習慣をもてるよう指導していくが、最後の確認や指導は必ず職員が行うようにしている。私達職員が気を配ることが一番大切なことではあるが、利用者自身への意識づけも非常に大切なことではある。清掃や換気等、利用者ができることを職員が実践しながら伝えていくのである。それは、利用者が自分自身の健康を維持することにもつながるのではないだろうか。

これから冬にかけて、インフルエンザが流行していくと思うが、利用者が安心して快適に過ご

せるために、職員が配慮し、健康でいられる環境づくりを提供しなければならない。ホコリ・細菌・ウィルス等が増加しないように、徹底した換気で予防し、空気感染が起こらないように配慮していく。環境づくりというテーマをもとに、職員全体で共通理解と共通意識をもち、利用者それぞれが同じように過ごしやすいと感じられるよう工夫し努めることは大切なことである。私が勤める施設では、幼児から高齢の利用者が入所しているため、それぞれの状態に応じた対応を考え、対策を練る必要があるが、相手の立場になって過ごしやすさを工夫していけば、答えが出てくるのではないだろうか。心身ともに健康で、くつろげる施設になるよう努めていきたい。感染症の集団感染は非常に恐いが、日々意識して流行を防ぎたい。

講評：

- ・教科書を読み、しっかり勉強した上に、講習会で得た知識も加え内容の濃いレポートとなっています。
- ・日々の業務で感じたこと、疑問的等も冷静に振り返りつつ、愛情あふれる支援ができています。
- ・様々な年代、また障害特性を踏まえての個別的な支援内容になっており、利用者の自立につながるような取り組みをしている姿勢が良いです。